

CPⅡ(2年次) 「ディベート」

2年次のCPⅡでは、「ディベート」を実施しています。ディベートとは、ある1つのテーマに関して「肯定派」と否定派」に分かれて、ジャッジ（判定者）を説得するように議論することで、論理的思考や瞬時に是非を判断する能力、批判的思考力を養うことができます。

今回は「日本の高校は校則を定めるべきである。是か非か。」をテーマに行いました。



【 ディベートの流れ 】

肯定側立論（2分）
否定側質疑（1分15秒）
否定側立論（2分）
肯定側質疑（1分15秒）
準備時間（1分30秒）
否定側反駁（2分）
肯定側反駁（2分）
審査・判定（3分）

代表生徒

- ・肯定側 2540 渡邊優羽 2620 中安穂乃佳 2621 野田幸志朗
- ・否定側 2318 白名悠泰 2408 片山泰成 2718 武本愛琉
- ・ジャッジ 2110 北川月菜 2325 玉川遥人 2724 長田真依
- 1233 向井さくら 1720 齋藤弥咲
- ・タイムパ - 1525 寺岡夏希

肯定側立論

メリット1

生徒の安全を確保できる

文部科学省

校則の定義

「健全な学校生活を営む」

安心、安全な学校環境が必要



校則によりリスク回避

性の多様性に対応した制服
(菅公学生服株式会社)



性別に関係なくすべてのアイテムが選択可能！
同じ柄のスラックスとスカート

反駁

経済産業省 「社会人基礎力」

- 1.前に踏み出す実行力
- 2.考え抜く課題発見力
- 3.チームで働く状況把握、規律性

⇒キャリアプランニングで学べる！！！！

